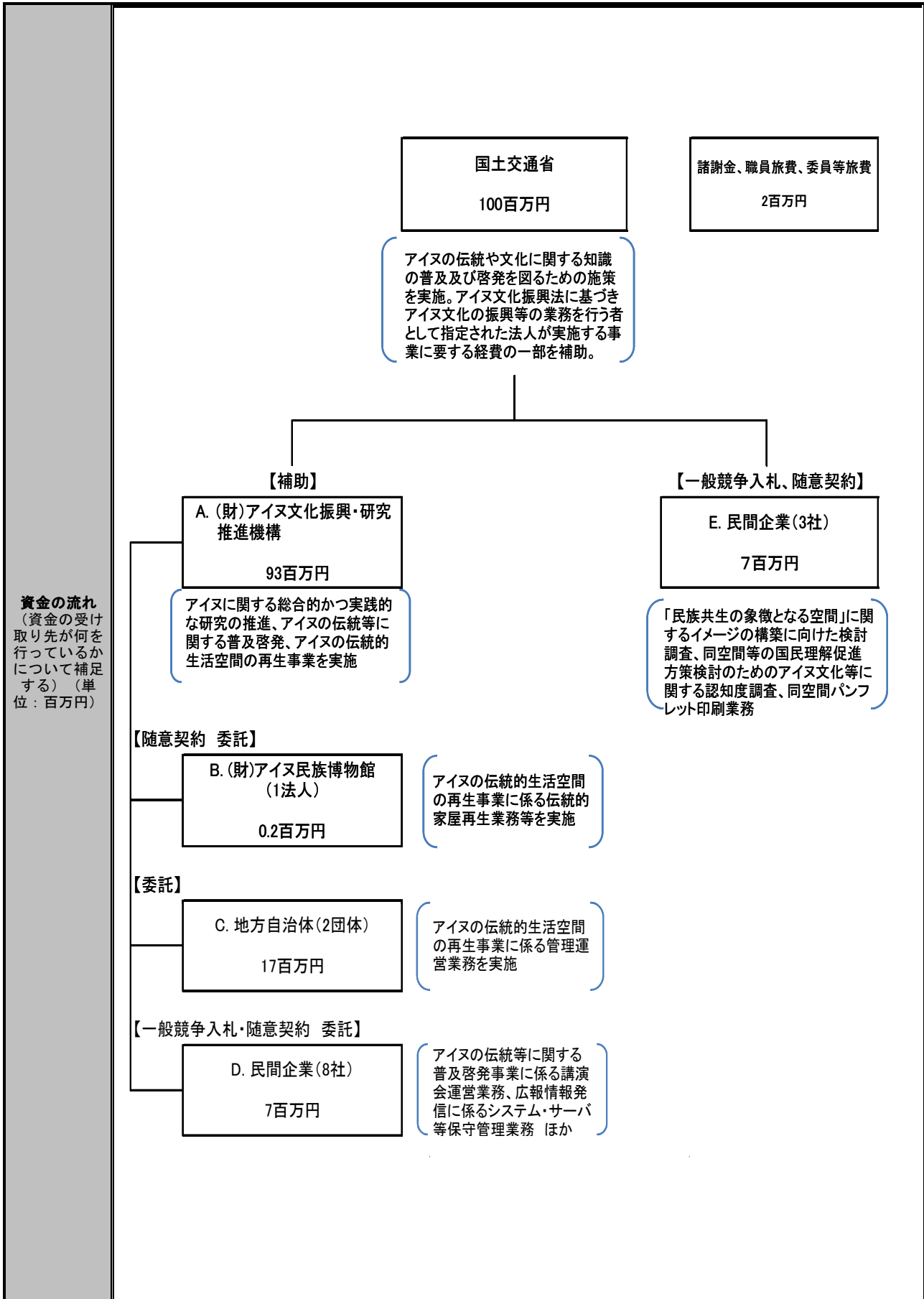


平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	アイヌの伝統等普及啓発等に必要経費		担当部局庁	北海道局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H9～		担当課室	総務課アイヌ施策室		室長 池下 一文		
会計区分	一般会計		施策名	40 北海道総合開発を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律(平成9年法律第52号)」(アイヌ文化振興法)第3条第1項(国の責務)		関係する計画、通知等	アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する国民に対する知識の普及及び啓発を図るための施策に関する基本方針(平成9年9月18日総理府告示第25号)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成20年6月に衆・参両院で採択された「アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議」や、平成21年7月の「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会報告」(以下「有識者懇談会報告」)を踏まえつつ、アイヌ文化振興法における国の責務であるアイヌ文化の振興を図るための施策の推進等を継続的に果たすことにより、アイヌの人々の先住民族としての誇りが尊重される社会の実現を図り、あわせて我が国の多様な文化の発展に寄与することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	アイヌ文化振興法に基づき、アイヌ文化の振興等の業務を行う者として指定された(財)アイヌ文化振興・研究推進機構(以下「アイヌ文化振興財団」)が実施するアイヌに関する総合的かつ実践的な研究の推進、アイヌの伝統等に関する普及啓発及びアイヌの伝統的生活空間の再生に要する経費の一部の補助等を実施(補助率1/2)。また、平成23年度は、有識者懇談会報告において今後のアイヌ政策の「扇の要」として位置付けられた「民族共生の象徴となる空間」の具体化に向け、同空間の全体イメージやゾーニング等を多角的・分野横断的に検討するための調査等を実施。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	128	118	124	125		
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
	計	128	118	124	125	125		
	執行額	121	110	102				
執行率(%)	94.6%	93.3%	82.2%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	21年度	22年度	23年度	目標値(24年度)
	講演会の延べ参加人数			人	26,002 (1,740)	27,778 (1,776)	29,441 (1,663)	31,000
			達成度	%	83.9	89.6	95.0	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	アイヌの伝統等生活空間の再生事業の実施地域数及び体験・交流活動の実施回数			地域	2	2 (2)	2 (2)	— (3)
			活動実績 (当初見込み)	回	10	18 (17)	29 (30)	— (42)
			算出根拠	※経費はいずれも国費ベース 【講演会】 H23講演会開催経費/H23参加人数 ・H23講演会開催経費:2,371,699円 ・H23参加人数:1,663人 【体験・交流事業】 H23体験交流事業経費/H23実施回数 ・H23体験交流事業経費:6,281,000円 ・H23実施回数:29回				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0	0	事業の重点化による減 事業の重点化による増				
	職員旅費	2	2					
	委員等旅費	1	1					
	北海道総合開発推進調査費	13	0					
	アイヌ伝統等普及啓発等事業費補助金	109	122					
	計	125	125					

事業所管部局による点検				
	評価	項目	評価に関する説明	
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は、有識者懇談会報告においても、国が主体性を持って政策を立案し遂行することが求められている等、アイヌの人々の民族としての誇りが尊重される社会の実現を図り、あわせて我が国の多様な文化の発展に寄与することを目的としたものであり、国の責務として優先的に実施すべき事業である。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。		
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	講演会や体験・交流活動等の参加者を幅広く呼び掛けることにより、一人当たりのコスト削減に努めている。また、費目・使途は、アイヌの伝統・文化の振興に必要な普及啓発等のための費目・使途に限定されている。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	アイヌ文化振興法においては、アイヌ文化の振興等を統一的、専門的に行う観点から、アイヌの伝統等に関する普及啓発等の業務を適正かつ確実に行うことができると認められる法人を指定し、同法人が事業計画を作成して業務を実施することとされており、指定法人であるアイヌ文化振興財団に対する経費の補助は、実効性の高い手段と考えられる。また、普及啓発の対象者数を考慮した適切な成果目標を設定しているほか、活動実績・成果実績も着実に向上しており、成果物も普及啓発等に十分に活用されている。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名		
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>・平成23年度の行政事業レビュー結果等を踏まえ、これまで実施した事業の評価・検証や重点化の検討、効率的な事業実施に努めている。具体的には、国、北海道、アイヌ文化振興財団、アイヌ関係団体で構成する「アイヌ文化振興等施策推進会議」において、事業の実施状況の把握・検証を行っているほか、アイヌ文化振興財団内においても、事業成果の検証を行ったところである。また、平成24年度は、デジタル媒体の活用等より効果の高い普及啓発の手法を取り入れた事業や、アイヌの伝統的生活空間の再生事業における体験・交流活動への重点化を図っている。</p> <p>・また、補助事業の完了後は、「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律」に基づき、報告書等の書類審査及び現地調査を行い、支出先・使途等を適切に把握している。</p> <p>・本事業の成果実績、活動実績は着実に向上しているところであるが、今後の事業展開に当たっては、成果を念頭に置いた一層の効率的・効果的な施策を推進する観点から、「アイヌ政策推進会議」(座長：内閣官房長官)における国民理解の促進方策等に関する検討内容等を踏まえ、より多数の人がアイヌの伝統文化に触れることのできる機会を創出する事業等への重点化を検討することが必要である。</p>			
予算監視・効率化チームの所見				
抜本的改善	<p>これまで実施されてきた事業の評価を行い、成果を検証するとともに、今後の事業展開に当たっては、事業環境等の精査を行い、成果を念頭に置いた重点化を行う。引き続き効率的な事業実施を図る。</p>			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)				
執行等改善	<p>国、北海道、(財)アイヌ文化振興・研究推進機構(以下「財団」)及びアイヌ関係団体から成る「アイヌ文化振興等施策推進会議」を開催し、事業の実施状況を把握するとともに、社会情勢等を踏まえたアイヌ文化振興等施策の更なる効果的な推進や、施策の充実という観点から、事業効果を検証した。</p> <p>平成25年度要求においては、成果を念頭に置いた一層の効率的・効果的な施策を推進する観点から、「アイヌ政策推進会議」(座長：内閣官房長官)における国民理解の促進方策等に関する検討内容等を踏まえ、より多数の人がアイヌの伝統文化に触れることのできる機会を創出する事業等への重点化を行った。</p> <p>実施に当たっては、財団事業における競争性・透明性の確保やコスト削減に努めつつ、引き続き効率的な事業実施を図る。</p>			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年行政事業レビュー	414	平成23年行政事業レビュー	385	



A.財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構			E.株式会社オリエンタルコンサルタンツ関東支店		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	伝統的生活空間再生事業に係る業務委託費、講演会運営業務委託費等	24	役務費	「民族共生の象徴となる空間」に関するイメージの構築に向けた調査業務	7
人件費	研究の推進、普及啓発、伝統的生活空間の再生事業に係る人件費	15			
臨時雇賃金	伝統的生活空間再生事業等に係る臨時職員賃金	13			
賃借料	伝統的生活空間再生事業に係る機材借料、アイヌ文化交流センター事務室借料等	15			
印刷製本費	小中学生向け副読本、指導書、幼児向け絵本等	5			
雑役務費	アイヌ文化交流センター共益費、伝統的生活空間再生事業に係る諸経費等	5			
消耗品費	伝統的生活空間再生事業に係る資材購入、アイヌ文化交流センター事務用品等	3			
その他経費	助成金、旅費交通費、通信運搬費、諸謝金、光熱水費等	13			
計		93	計		7
B.(財)アイヌ民族博物館			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務費	伝統的技法により復元されたチセの補修業務	0.2			
計		0.2	計		0
C.白老町			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務費	アイヌの伝統的生活空間の再生事業に関する管理運営等業務	13			
計		13	計		0
D.(株)札幌映像プロダクション			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務費	アイヌ文化の変容に係る映像資料制作業務	2			
役務費	新千歳空港国際線ターミナル展示コーナー用映像資料制作業務	0			
計		2	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごと
 に最大の金額が支出され
 ている者について記載す
 る。費目と使途の双方で
 実情が分かるように記
 載)

支出先上位10者リスト

A.財団法人(1法人)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)アイヌ文化振興・研究推進機構	委託費(伝統的生活空間再生事業に係る業務委託費、講演会運営業務委託費等)等	93	補助金	-

B.財団法人(1法人)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)アイヌ民族博物館	伝統的技法により復元されたチセの補修業務	0.2	随意契約	-

C.地方公共団体(2団体)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	白老町	アイヌの伝統的生活空間の再生事業に関する管理運営等業務	13	随意契約	-
2	平取町	アイヌの伝統的生活空間の再生事業に関する管理運営等業務	3	随意契約	-

D.民間企業(8社)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)札幌映像プロダクション	アイヌ文化の変容に係る映像資料制作業務	2	3	89.9
		新千歳空港国際線ターミナル展示コーナー用映像資料制作業務	0.4	随意契約	-
2	(株)えんれいしや	新千歳空港国際線ターミナル展示コーナー設置業務	2	随意契約	-
3	北海道日本電気ソフトウェア(株)	情報システム及びサーバ等保守・管理委託業務	1	随意契約	-
4	(株)アド・ビューロー岩泉	アイヌの伝統等に関する普及啓発講演会(大阪会場)運営業務	1	5	65.7
5	(株)日本経済社札幌支社	アイヌの伝統等に関する普及啓発講演会(東京会場)運営業務	1	5	59.1
6	(株)ノヴェロ	アイヌの伝統等に関する普及啓発講演会(旭川会場)運営業務	0.2	5	50.9
7	(株)地球環境計画	アイヌの伝統的生活空間の再生事業に係る自然素材生育対策調査検討業務	0.2	随意契約	-
8	アートシステム(株)	ホームページ新規ページ作成業務	0.1	随意契約	-

E.民間企業(3社)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)オリエンタルコンサルタンツ関東支店	「民族共生の象徴となる空間」に関するイメージの構築に向けた調査業務	7	10	37.1
2	(株)メディアインタラクティブ	アイヌの人々及びアイヌ文化等に関する認知度調査	0.4	随意契約	-
3	(株)エムア	「民族共生の象徴となる空間」パンフレット印刷業務	0.1	随意契約	-